

## 4 . 広域連携軸の活用等による活力向上方策検討調査

### 目 次

|                                 |      |
|---------------------------------|------|
| 4. 広域連携軸の活用等による活力向上方策検討調査 ----- | 4-1  |
| 4.1 調査の概要 -----                 | 4-1  |
| 4.2 地域資源の抽出 -----               | 4-1  |
| 4.3 類似の事例調査 -----               | 4-7  |
| 4.4 東海北陸自動車道の全線開通による期待と懸念 ----- | 4-12 |
| 4.5 活力向上方策の検討 -----             | 4-50 |

## 4. 広域連携軸の活用等による活力向上方策検討調査

### 4.1 調査の概要

広域的なインフラ整備が予定されている地域では、整備効果による交流人口の増加、産業、観光等の活性化が期待される一方、通過地域では、ストロー効果により地域全体が疲弊することが懸念されている。そこで今年度中に全線開通が予定されている東海北陸自動車道沿線地域において、地域が疲弊することなく、地域活力が向上すると思われる方策について具体的に提案する。なお、方策を検討するにあたっては、新たに整備される広域交通軸の活用や新たな地域連携が生じる点に留意し、地域特性にあった効果的な提案を行うものとする。

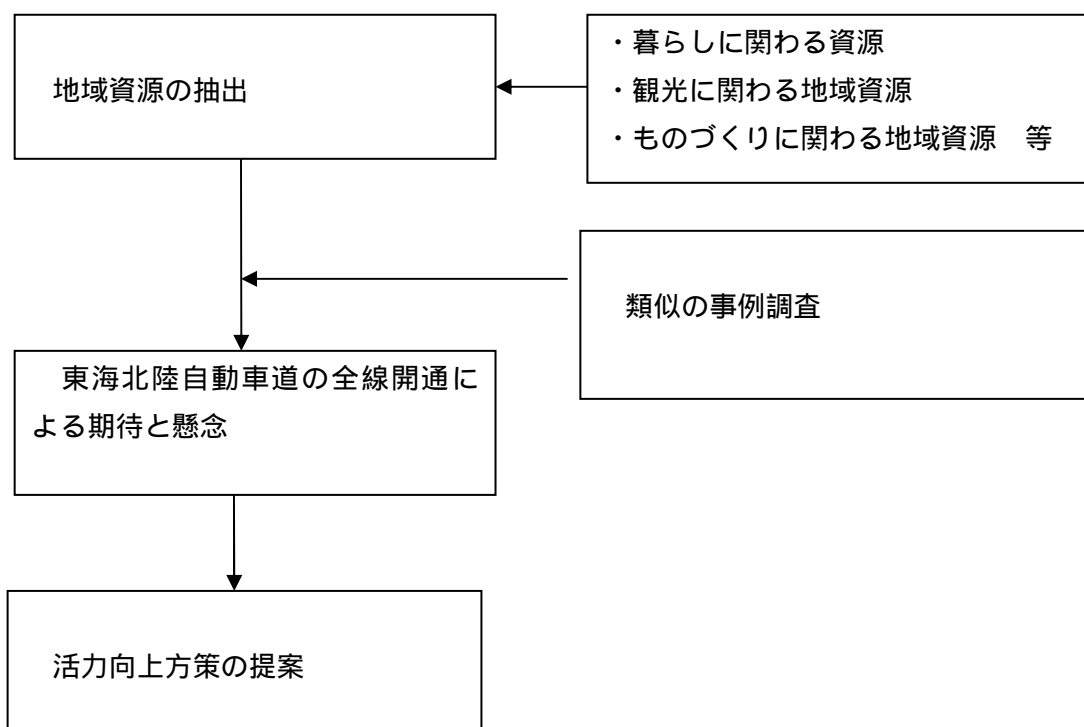


図 4.1.1 調査のフロー

### 4.2 地域資源の抽出

東海北陸自動車道沿線地域として岐阜県の関市～白川村及び富山県の南砺市～高岡市までのエリアを対象にして、地域活力向上に資する主な地域資源を抽出した。

#### (1) 暮らしに関わる地域資源

暮らしに関わる主な地域資源として、病院、道の駅、クラインガルテン（滞在型市民農園）を抽出した。病院については、岐阜県内は高山市内等に点在するものの、富山県では高岡市内に一定の集積がみられる。一方、道の駅は岐阜県内に多く、富山県内には少ないが、全般的にみて、東海北陸自動車道沿線には数多く分布している。また、クラインガルテンは東海北陸自動車道沿線にはほとんどなく、長野県に多い（図4.2.1参照）。

(2) 観光に関わる地域資源

観光に関わる地域資源として、世界遺産、国立公園等の自然公園、温泉、スキー場、文化財、まつり、特産物等を抽出した。東海北陸自動車道の周辺は、中部山岳国立公園、白山国立公園など多くの自然公園に囲まれた地域であるほか、世界遺産に登録された白川郷・五箇山の合掌造り集落も位置する。また、温泉やスキー場も多く分布している。さらに、美濃市・郡上市・高山市・飛騨市の歴史のある街並み、砺波市・南砺市の散居村景観、高岡古城公園などの歴史文化資源も多い。砺波のチューリップ畑も知名度の高い景観である。さらには、郡上踊りや高山祭など全国的にも知名度の高いイベント等が特徴的な観光資源である（図 4.2.2 参照）。

表 4.2.1 観光資源

| 岐阜県内  | 富山県内  |
|---|---|
| <p>【共通】<br/>酒蔵、飛騨もも農園、飛騨りんご農園</p> <p>【関市】<br/>長良川の鶺鴒、富有柿農園、岐阜県百年公園、高賀溪谷、関鍛冶伝承館</p> <p>【美濃市】<br/>富有柿農園、美濃まつり、うだつのあがる町並み、ひんここまつり、大矢田もみじ谷、美濃和紙あかりアート、美濃和紙の里会館</p> <p>【郡上市】<br/>せせらぎ街道、白鳥おどり、長滝の延年、阿弥陀ヶ滝、大師堂、石徹白の大杉、ひるがの水バショウ、郡上市のスキー場、明宝歴史民俗資料館、ひるがの高原</p> <p>【白川村】<br/>白川郷合掌造り集落、大白川の湯平瀬温泉、白山スーパー林道</p> <p>【下呂市】<br/>下呂温泉、ギフチョウ、南飛騨健康増進センター、田の神まつり、苗代桜、中山七里、酒蔵、横谷峡四つの橋、金山巨石群、皇樹の杜、巖立峡</p> <p>【高山市】<br/>莊川桜ほおのき平コスモス園、乗鞍岳奥飛騨温泉郷、せせらぎ街道、臥龍桜、高山祭、高山の朝市、御嶽山、高山の古い街並み、乗鞍スカイライン、野麦峠、高山陣屋、平湯大滝、飛騨高山温泉、宇津江四十八滝、高地トレーニングエリア</p> <p>【飛騨市】<br/>古川祭、飛騨種蔵の棚田・板倉、古川の古い街並み、数河獅子、古川起こし太鼓、三寺まいいり</p> | <p>【共通】<br/>酒蔵、とやま昆布街道、チューリップ畑、曳山、万葉線、万葉の里、立山連峰、獅子舞</p> <p>【高岡市】<br/>瑞龍寺、勝興寺、佐伯家、棚田家、武田家、国分寺跡、木舟城跡、気多神社、金屋町の町並み、築山行事、高岡御車山、前田利長公墓所、山町筋、旧北前船問屋、高岡大仏、高岡銅器工房、高岡漆器工房、雨晴海岸、水道つつじ公園、戸出菜の花、古城公園、弓の清水、高岡のコロッケ店</p> <p>【氷見市】<br/>埋没林、十二町のオムニバス、上目寺の大いちょう、越中定置網漁、氷見海岸、氷見温泉郷、氷見サカナ紳士録モニュメント、湊川虹の橋、忍者はっとりくん列車</p> <p>【砺波市】<br/>散居景観、頼成の森花しょうぶ、チューリップ公園のカンア、夢の平コスモス、園芸植物園の福野スプレー菊、庄川温泉</p> <p>【小矢部市】<br/>稲葉山、宮島峡</p> <p>【南砺市】<br/>瑞泉寺、こきりこ、城端むぎや、福野夜高、五箇山合掌造集落、越中和紙工房、散居景観、井波彫刻工房、利賀芸術公園、五箇山豆腐店、五箇山の報恩講料理店、利賀蕎麦店</p> <p>【射水市】<br/>やんさんま、帆船海王丸、内川、太閤山ランドのあじさい、大門風</p> |

資料：「中小企業地域資源活用促進法活用の手引き」（平成 19 年 11 月、全国中小企業団体中央会）及び自治体・団体アンケートより

### (3) ものづくりに関わる地域資源

ものづくりに関わる地域資源としては、農林水産物、農産物加工品、工業製品、大学等を抽出した。

農林水産物は豊富であり、岐阜県は高原野菜や長良川の鮎、富山県は氷見のぶり、ホタルイカなどが代表的なものである。農産物加工品としては、岐阜県内では飛騨の乳製品や高山ラーメン、富山県ではます寿司や氷見うどんなど、全国的にも有名な食品が多い。工業製品等では、岐阜県は和紙・木工製品・飛騨和ろうそく、富山県ではくすり・銅器・アルミニウム製品などが代表的なものである。大学は、飛騨地方にはないなど東海北陸自動車道沿線には、ほとんど立地していない(図 4.2.3 参照)。

表 4.2.2 地域資源一覧

|        | 岐阜県内   | 富山県内  |
|--------|--|---|
| 農林水産物  | 夏秋トマト、ひるがの高原だいこん、富有柿、美濃白川茶、長良川の鮎、郡上鮎、ひるがの牛乳、カイコ、東濃桜、宿儺かぼちゃ、飛騨の夏ほうれんそう、飛騨紅かぶ、高山もち米、飛騨の菊、飛騨もも、飛騨りんご、飛騨牛、飛騨地鶏、飛騨の牛乳、カイコ、下呂のアマドコロ  | どっこきゅうり、ほうれん草、大麦、菅、氷見はとむぎ、富山しろねぎ、アルギットにら、山野さといも、五箇山赤かぶ、黒河たけのこ、へちま、ふく福柿、庄川ゆず、宮島の栗三社柿、りんご、水島柿、呉羽なし、稲積梅、チューリップ、シロエビ、ホタルイカ、プリベニズワイガニ、ズワイガニ、ゲンゲ、氷見ぶり、氷見イワシ、鮭、鮎、鯉、氷見牛、富山ポーク、鶏卵、利賀蕎麦 |
| 農産物加工品 | 清酒、美濃白川茶、奥美濃カレー、宗祇水、飛騨ヨーグルト、飛騨アイスクリーム、高山ラーメン、(道の駅清見)パスカルドレッシング   | 深層水、清酒、かまぼこ、ます寿し、高岡コロケ、氷見うどん、干物、地ビール、米菓、かぶら寿し、大門素麺、富山干柿、昆布じめ、薬膳   |
| 工業製品等  | 加工紙、紙製品、紙製容器、美濃和紙、郡上袖、郡上本染、古今染め、ふじ細工、郡上びく、郡上竿、航空宇宙部品、飛騨の木製家具、飛騨の木工製品、飛騨春慶、飛騨一位一刀彫、白川郷の挽物、飛騨さしこ、山田焼、洪草焼、小糸焼、飛騨和ろうそく、山中和紙、船津大洞湧水 | 越中和紙、織物、高岡銅器、高岡漆器、高岡仏具、庄川挽物木地、井波彫刻、富山のくすり、ガラス製品、アルミニウム製品、ニット製品、福光バット  |

資料：「中小企業地域資源活用促進法活用の手引き」(平成 19 年 11 月、全国中小企業団体中央会)及び自治体・団体アンケートより

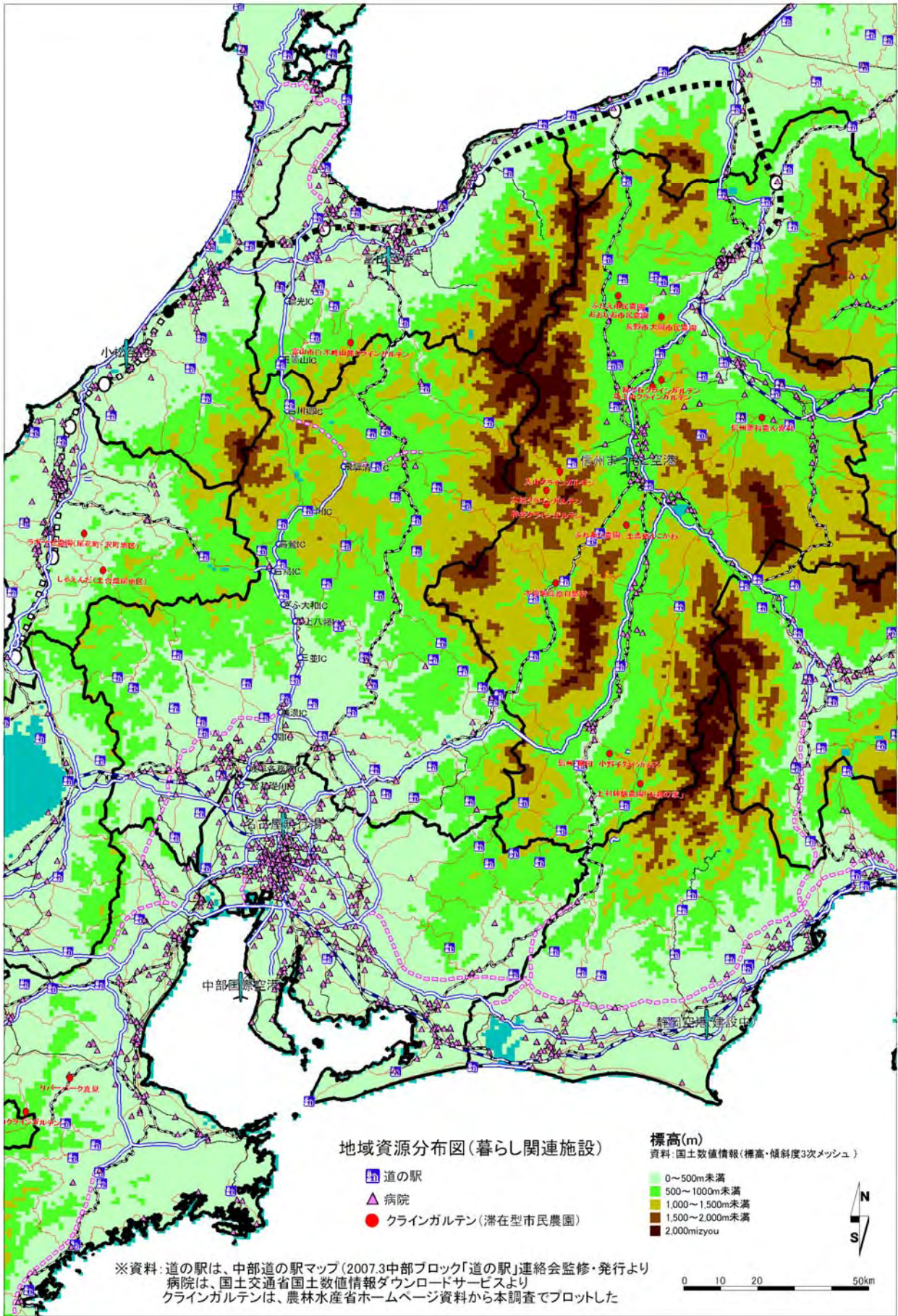


図 4.2.1 地域資源分布(暮らし関連施設)

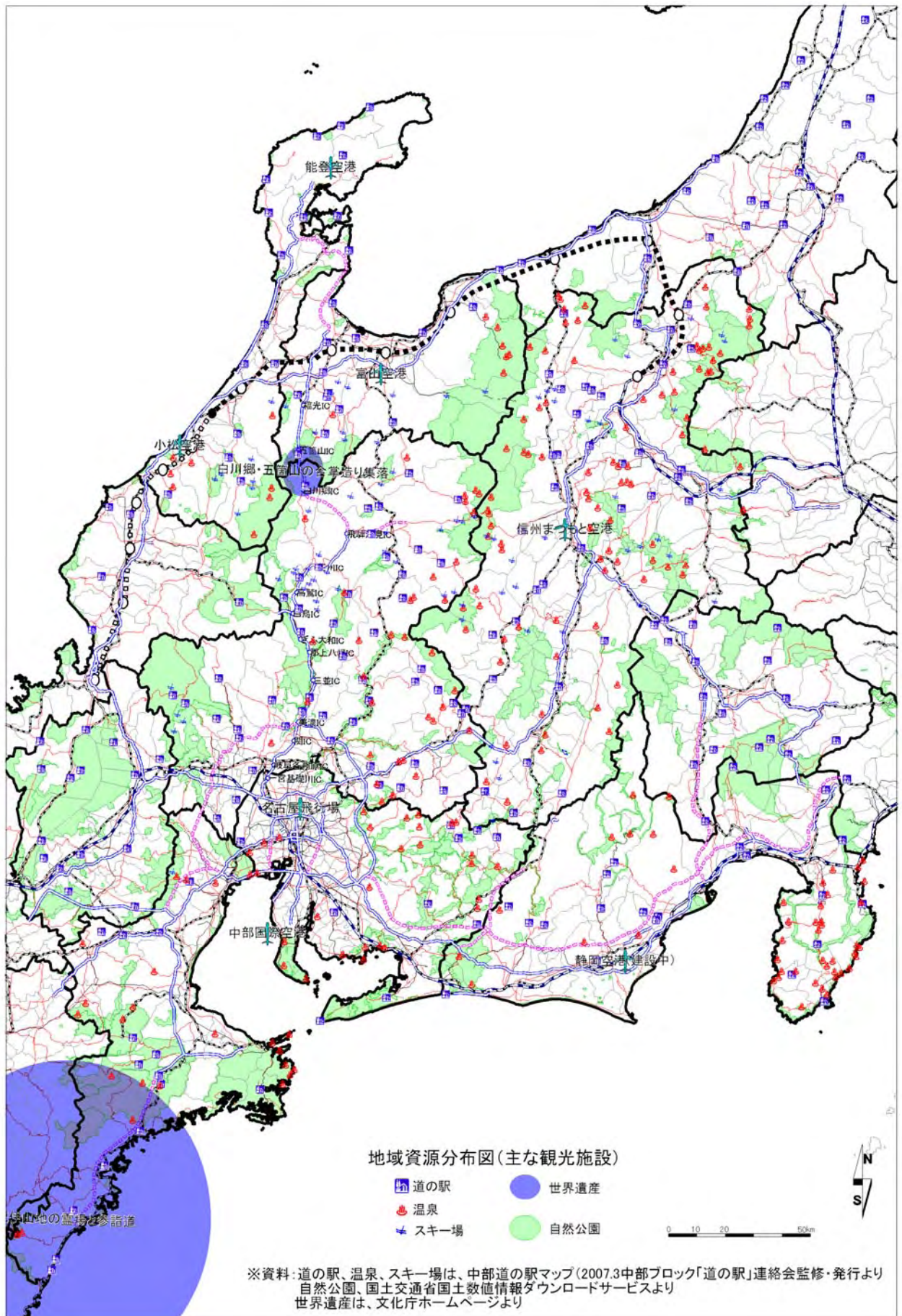


図 4.2.2 地域資源分布(主な観光施設)

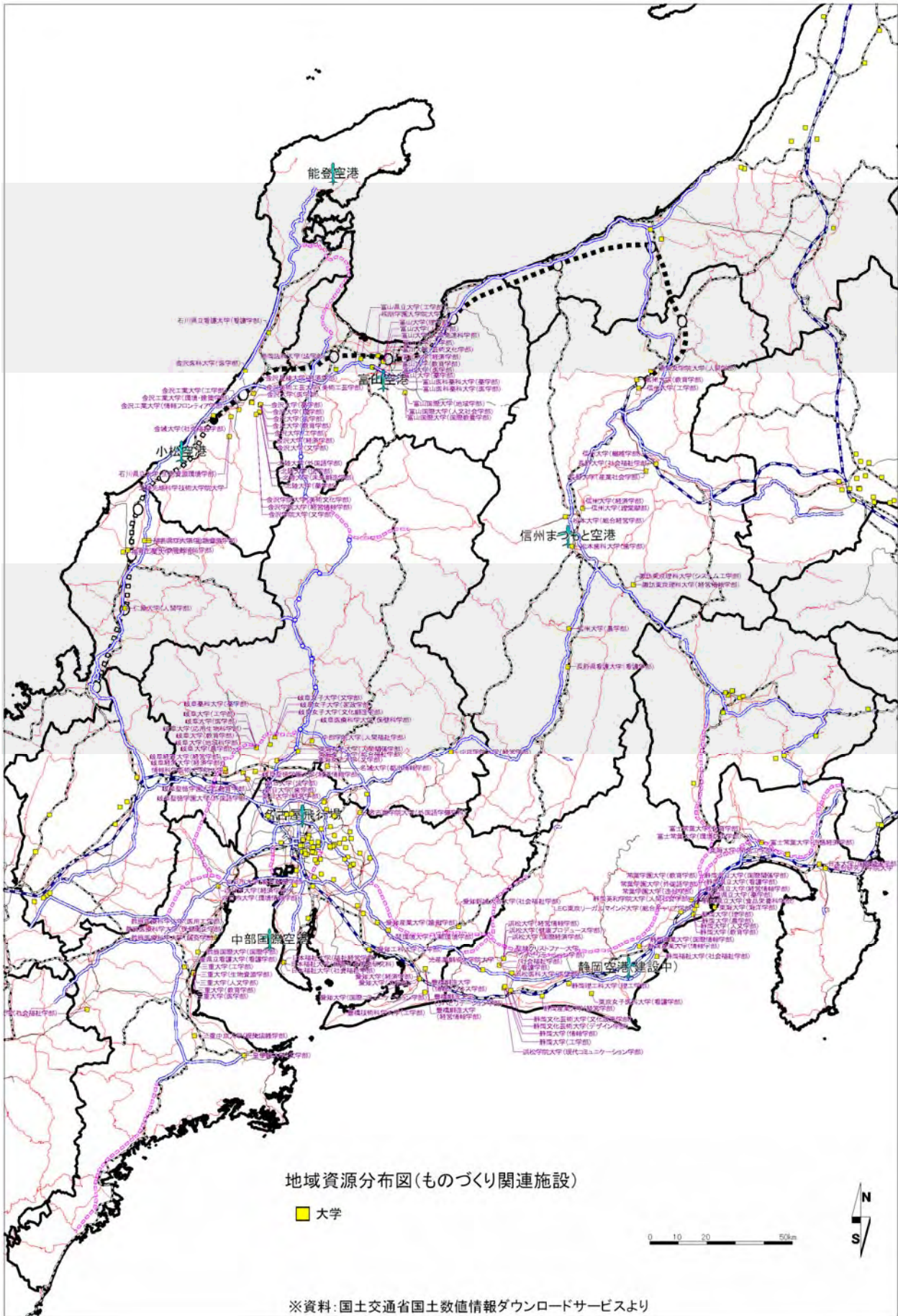


図 4.2.3 地域資源分布 (ものづくり関連施設)

### 4.3 類似の事例調査

#### 4.3.1 調査対象

東海北陸自動車道と類似している事例として、中山間地域を通過し、国土を横断する広域交通軸として機能している磐越自動車道と中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道、岡山自動車道）を対象とした。

##### (1) 対象路線の比較

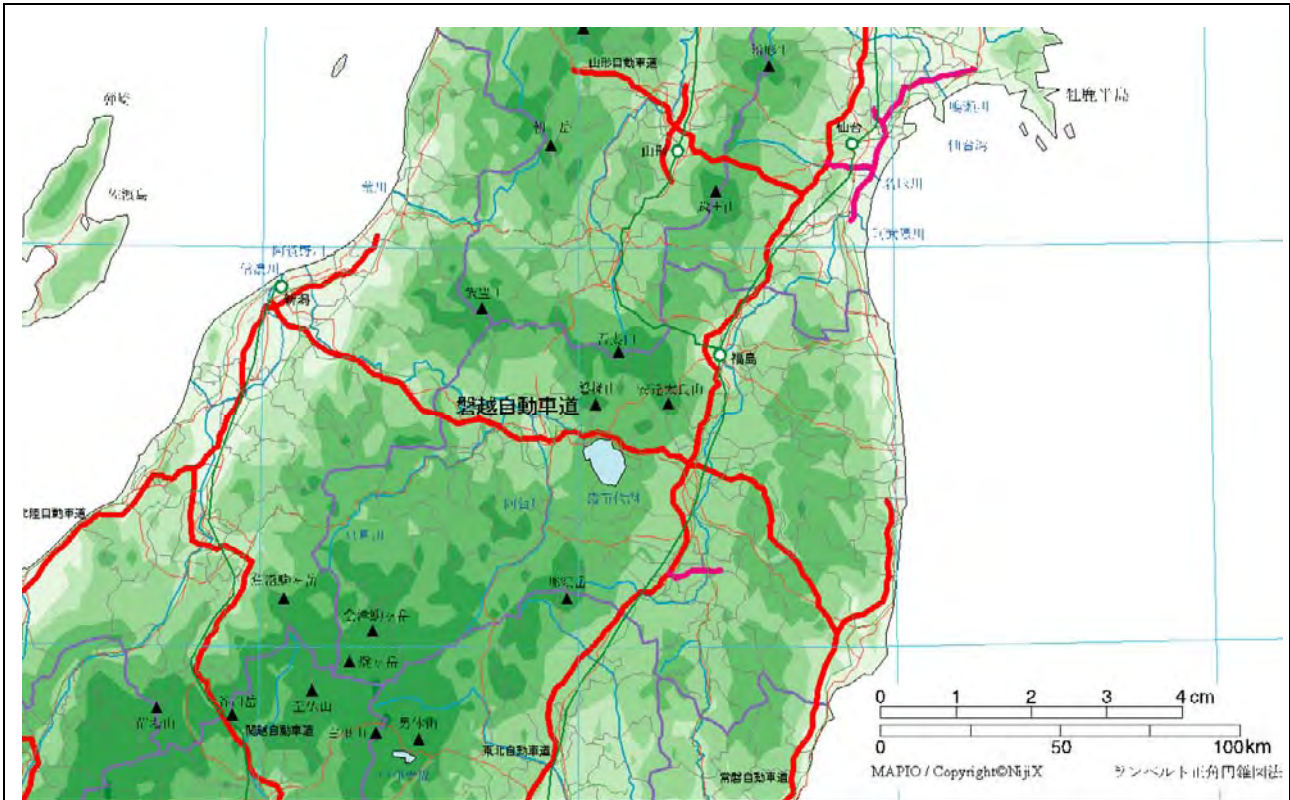
東海北陸自動車道、磐越自動車道、中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道、岡山自動車道）の概要は次の通りである。

表 4.3.1.1 比較3路線の概要

|             | 東海北陸自動車道  | 磐越自動車道   | 中国横断自動車道岡山米子線   |                                    |
|-------------|---|--|---|------------------------------------|
|             |   |  | 米子自動車道  | 岡山自動車道                             |
| 起点          | 愛知県一宮市<br>(名神高速道路)  | 福島県いわき市<br>(常磐自動車道)  | 岡山県真庭市<br>(中国自動車道)  | 岡山県岡山市<br>(山陽自動車道)                 |
| 終点          | 富山県小矢部市<br>(北陸自動車道)   | 新潟県新潟市<br>(北陸自動車道)   | 鳥取県米子市  | 岡山県真庭市<br>(中国自動車道)                 |
| 延長          | 184.8km   | 212.7km  | 66.5km  | 43.9km                             |
| 全線開通<br>年月日 | 平成20年7月頃<br>(NEXCO中日本プレスリ-ス)  | 平成9年10月1日  | 平成4年12月18日  | 平成9年3月15日                          |
| 経由<br>都市    | (愛知県)<br>一宮市<br>(岐阜県)<br>各務原市、笠松町、岐阜市、関市、美濃市、郡上市、高山市、飛騨市、白川村<br>(富山県)<br>南砺市、砺波市、小矢部市 | (福島県)<br>いわき市、小野町、田村市、三春町、郡山市、本宮市、猪苗代町、磐梯町、会津若松市、会津美里町、会津坂下町、西会津町<br>(新潟県)<br>阿賀町、阿賀野市、五泉市、新潟市 | (岡山県)<br>真庭市<br>(鳥取県)<br>江府町、伯耆町、米子市                            | (岡山県)<br>岡山市、倉敷市、総社市、吉備中央町、高梁市、真庭市 |
| 備考          |   |  | 米子自動車道、岡山自動車道を併せて、中国横断自動車道岡山米子線(岡山県岡山市～鳥取県境港市)と称され、瀬戸内海と日本海を結ぶ。 |                                    |

### 4.3.2 磐越自動車道

#### (1) 磐越自動車道の概要



| 効果の種類 | 内容   |
|-------|--|
| 広域交通  | <p>広域交通軸の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新潟港、新潟空港、福島空港、小名浜港が直結され、極東・東アジアと太平洋地域が結ばれ、国際交流軸が形成される。</li> </ul>   |
| 新たな交流 | <p>新たな交流の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>東北地方と中部地方（甲信越地方）に分かれていることで、交流の少ない地域間の新たな交流が発生する。</li> <li>平成9年の磐越自動車道の全線開通を控え、平成6年「磐越自動車道沿線都市交流会議設立巡回」を設立し、沿線の自治体、商工会等で構成される交流会議を発足させ、都市間の連携・強化を図っている。</li> <li>交流の内容としては、親善スポーツ大会、観光物産展の実施、観光マップの作成等である。</li> </ul>  |
| 輸送・物流 | <p>物流の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>福島産きゅうりの京都市場への出荷額の増加、新潟県産まいたけの北東北方面への出荷額の増加、東北太平洋岸から北陸・西日本への水産物出荷ルートの確立、新潟県産乳製品の東北方面への出荷額の増加。</li> <li>宅配便の輸送経費の削減。</li> </ul>   |
| 人の動き  | <p>高速バス利用者数の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>高速バス利用者数（新潟～仙台線、新潟～会津線、新潟～村松線）の増加。</li> </ul> <p>観光ルートの創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋側の観光地と会津や郡山周辺の観光地、日本海側の観光地が接続され、短時間でアクセスが可能になり、広域周遊ルートができる。</li> </ul> <p>観光入り込み客数の増加への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>観光入り込み客数（新潟県の温泉目的観光客）の増加、沿線のまつりの観光客数の増加。</li> <li>温泉地の宿泊客数の増加。</li> </ul> <p>消費・生活圏域の広域化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1時間で到達できる生活関連施設数の増加。</li> <li>新潟県の買い物圏の拡大。</li> </ul> <p>救急医療体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>消防本部から医療機関までの所要時間の短縮、救急患者の搬送時間の短縮、搬送範囲の拡大。</li> <li>救急活動車両の磐越自動車道の利用。</li> <li>競合する国道の死傷事故の減少。</li> </ul> |

## (2) 磐越自動車道の効果等

磐越自動車道沿線の自治体では、「磐越自動車道沿線の都市間提携及び交流を図り、それぞれの特性を生かして、機能の相互補完により地域の魅力を高め、一体となって発展していくことを目的に事業の展開を図る」ことを目的に、磐越自動車道沿線都市交流会議を設け、観光、レクリエーション事業、調査、研究及び研修・公園、災害時における相互応援に関する要綱の制定などを行っている。

平成 18 年度には磐越自動車道磐梯山 S A で観光物産 P R 事業を開催し、沿線自治体の特産品等の展示・販売や観光 P R、伝統芸能の披露を行っている。

平成 19 年度には沿線自治体の中学校 15 校の野球チームの参加を得て、親善スポーツ野球大会を開催し、沿線の交流を図っている。

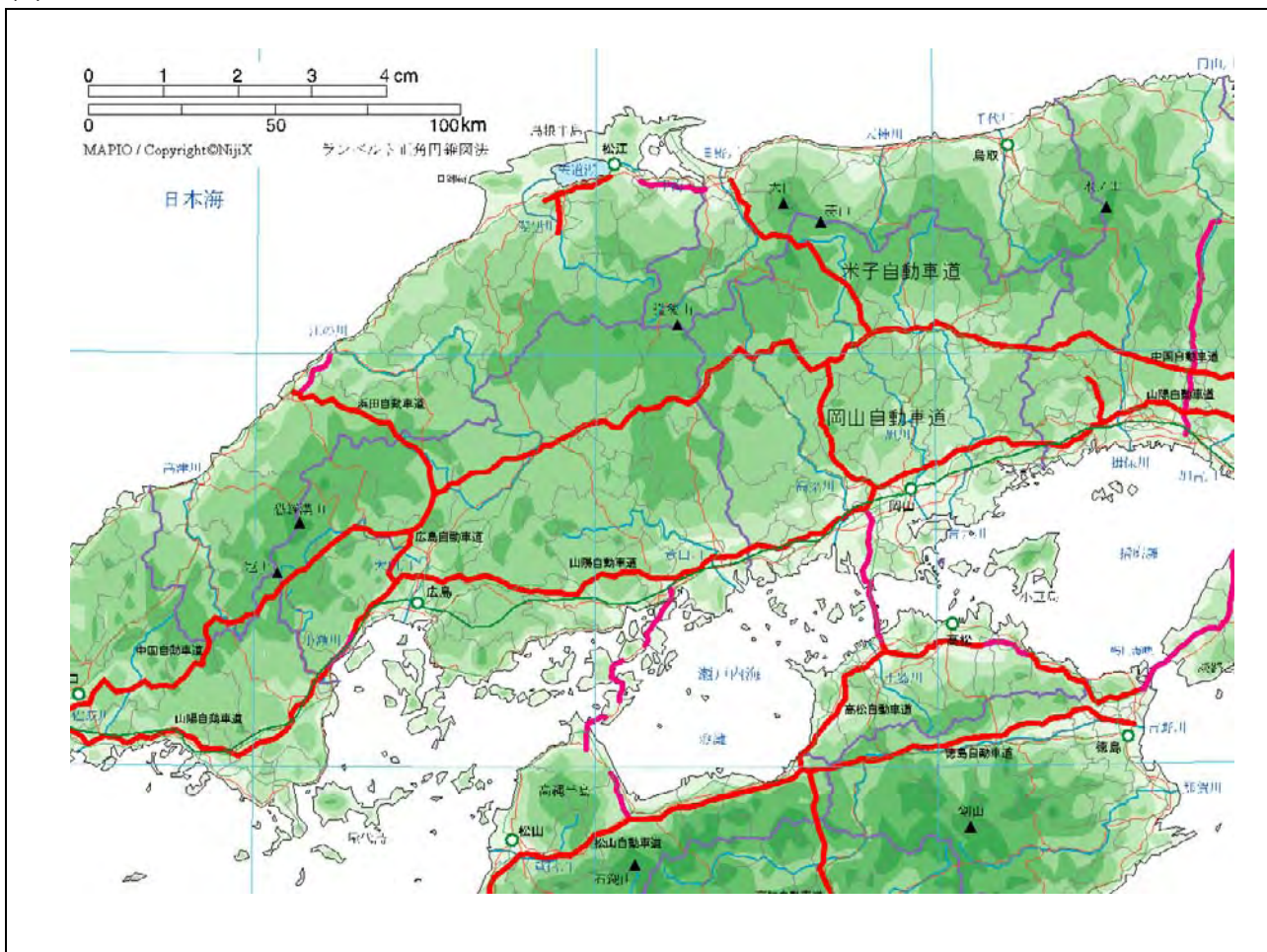
さらに、ポータルサイト (<http://www.banetsu-koryu.jp/index.html>) を設け、沿線自治体の情報発信を行っている。



図 4.3.2.1 磐越自動車道沿線都市交流会議のホームページ

### 4.3.3 中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道、岡山自動車道）

#### (1) 中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道、岡山自動車道）の概要

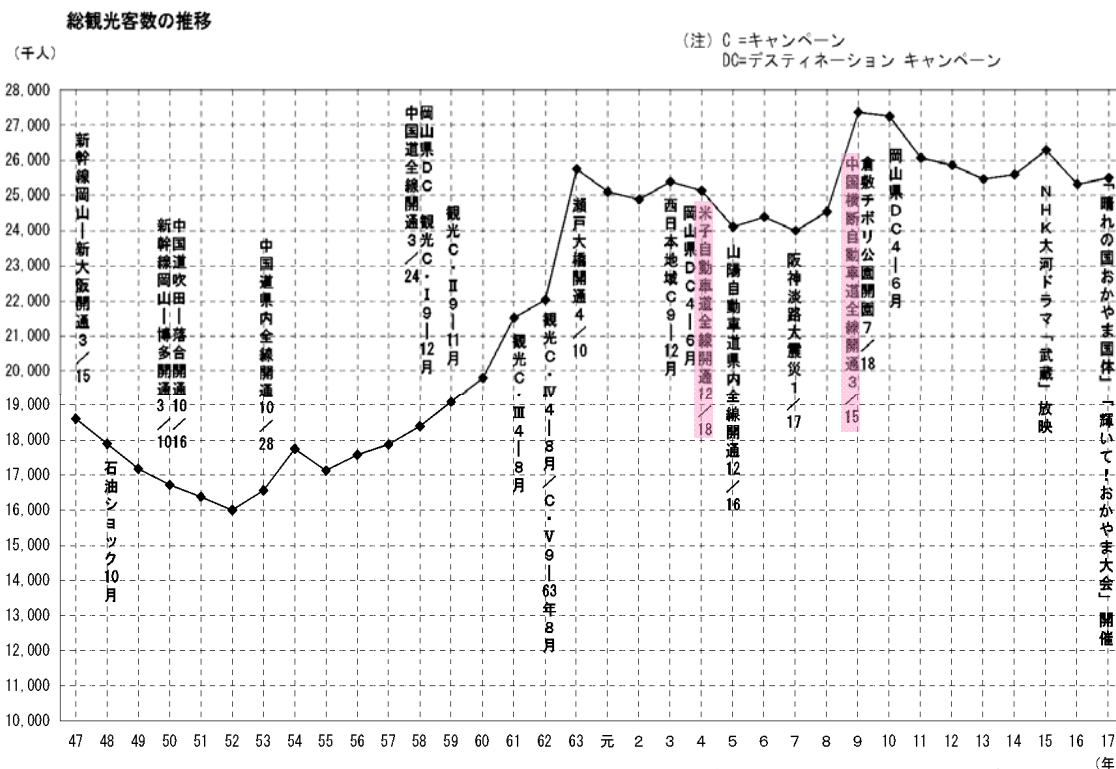


| 効果の種類 | 内容   |
|-------|--|
| 広域交通  | <p>広域交通軸の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>瀬戸内、山陽、山陰を結ぶ広域交通軸が形成された。</li> </ul>   |
| 輸送・物流 | <p>物流の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新たな輸送ルート の 確立。</li> <li>米子自動車道を利用した生鮮食用向け水産品の京浜、京阪神への出荷額の増加。</li> <li>岡山県の倉庫面積は、10年間で約2倍に増加し、物流の効率化に貢献。</li> </ul>   |
| 人の動き  | <p>高速バスの利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車道の開通に伴い、岡山～米子・松江間的高速バスが新たに開設され、年間4万人の利用者があり、新たな交通手段として定着。</li> <li>高速バス利用は、JR特急に比べ所要時間がかかる（15分遅い）ものの、料金は約2,000円安くなっており、利用者にとっての選択肢が拡大。</li> </ul> <p>観光の広域化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>岡山道の開通に伴い、四国から山陰地域への観光客が4割増加し、観光の広域化に貢献。</li> <li>米子自動車道の開通に伴い、瀬戸内から日本海側の観光地である大山などへの観光客が増加。</li> </ul> <p>救急医療体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一般病院から高度医療機関への救急を要する搬送時間が4割程度短縮し、病院間の連携強化が図られた。</li> </ul> |

(2) 中国横断自動車道岡山米子線（米子自動車道、岡山自動車道）の効果等

米子自動車道の開通（平成4年12月）のみでは観光客数の増加には直接的には結びついてはいなかったが、岡山自動車の開通（平成9年3月）に伴い、瀬戸内から日本海まで貫く高速交通網が整備され、観光キャンペーン等とあいまって観光客の大幅増につながった。

特に、四国地域から山陰地域（鳥取県、島根県）への観光入り込み客数の増加など、それまで交流があまりなかった地域からの観光客が増加しており、新たな交流の創出が図られたといえる。



資料：岡山県観光客動態調査報告書（平成17年）

注）デスティネーションキャンペーンとは、JRグループ（JR北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と指定された自治体、地元の観光事業者等が協働で実施する大型観光キャンペーンのことであり、デスティネーション=Destination（目的地・行き先）とキャンペーン=Campaign（宣伝戦）の合成語。

図 4.3.3.1 岡山県の年次別観光客数の推移



※( )内は、H6年度からの伸び率

出典：鳥取県観光入り込み動態調査結果  
鳥取県観光動態調査結果表

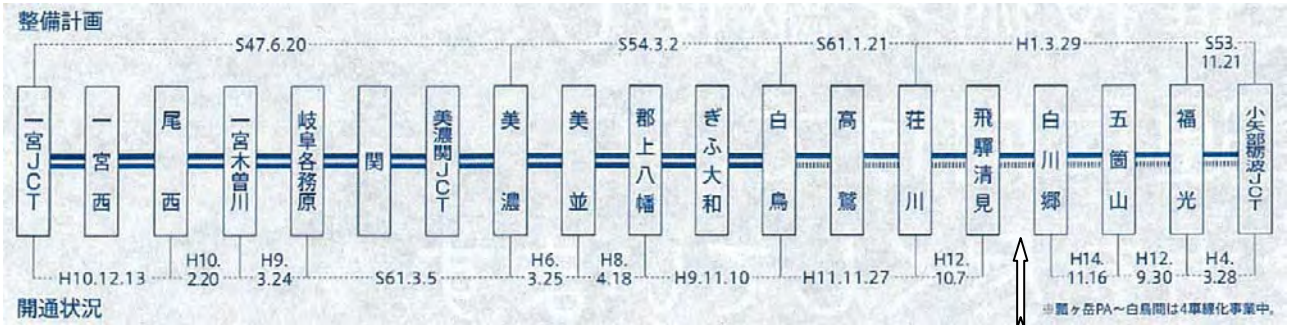
出典：「岡山自動車道 事業の主な効果 / NEXCO西日本」

図 4.3.3.2 鳥取県、島根県における四国からの観光入込客の推移

#### 4.4 東海北陸自動車道の全線開通による期待と懸念

##### 4.4.1 東海北陸自動車道の整備状況

平成20年3月現在、東海北陸自動車道は、飛騨清見ICから白川郷ICまでの区間を除いて開通しており、飛騨清見ICから白川郷ICまでの区間は、平成20年夏頃に開通予定である。



H20年7月頃  
開通予定

出典：東海北陸自動車道パンフレット(2007年9月：中日本高速道路株式会社)

図 4.4.1.1 東海北陸自動車道の整備計画とこれまでの開通状況



出典：東海北陸自動車道パンフレット  
(2007年9月：中日本高速道路株式会社)

図 4.4.1.2 東海北陸自動車道全体路線

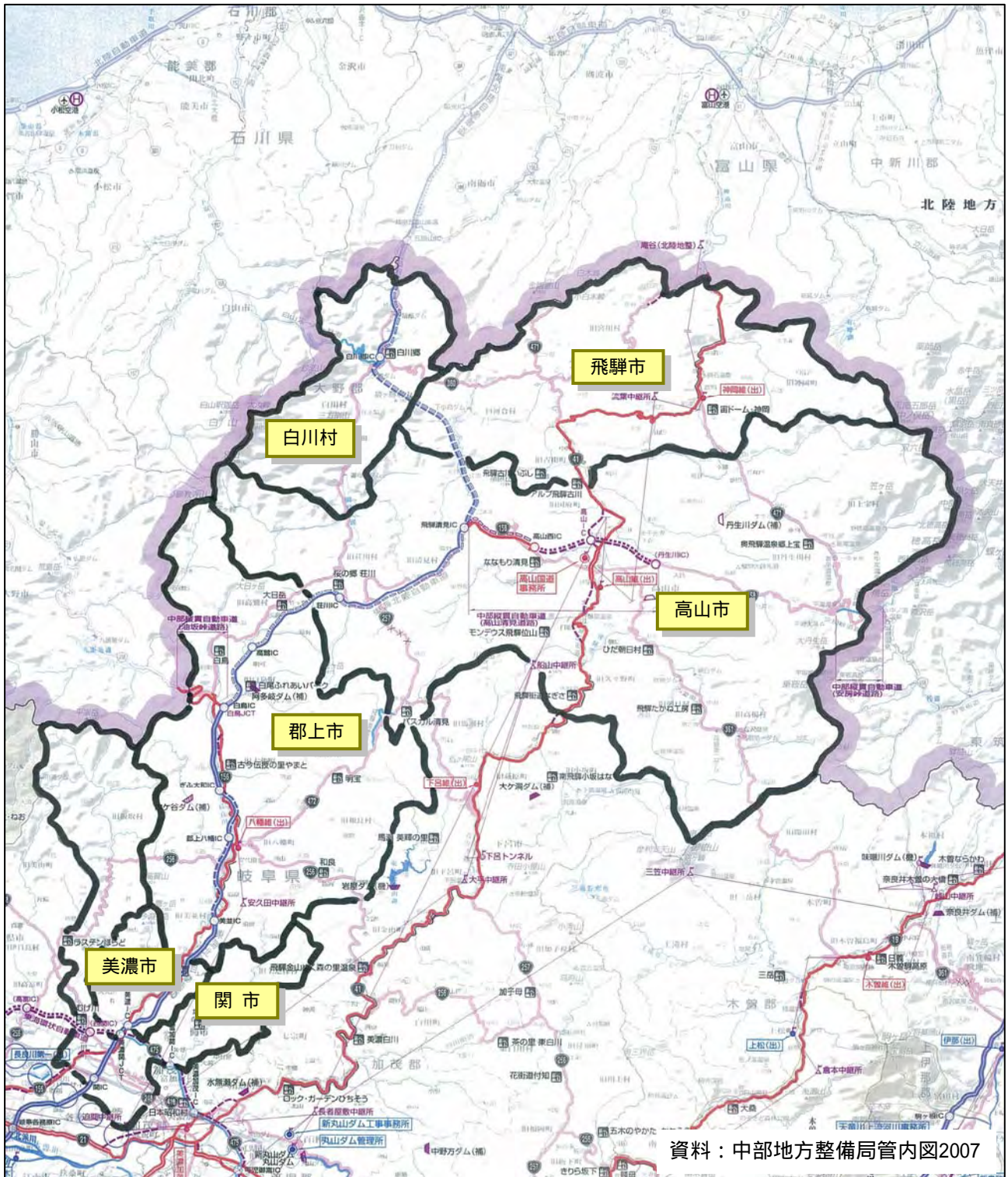


図 4.4.1.3 東海北陸自動車が通過する沿線自治体（岐阜県内）

#### 4.4.2 整備による期待

東海北陸自動車道の現時点で顕在化している整備効果及び今後の期待について整理する。

##### 1) 既往資料による整備効果の整理

###### (1) 全通による所要時間の短縮

- ・ 飛騨清見IC～白川郷ICの開通により、氷見漁港から名古屋中央卸売市場まで「氷見の寒ブリ」を大型車で輸送する場合、一般国道156号の利用に比べて、約2時間45分、北陸自動車道の利用に比べて約35分、所要時間が短縮される。

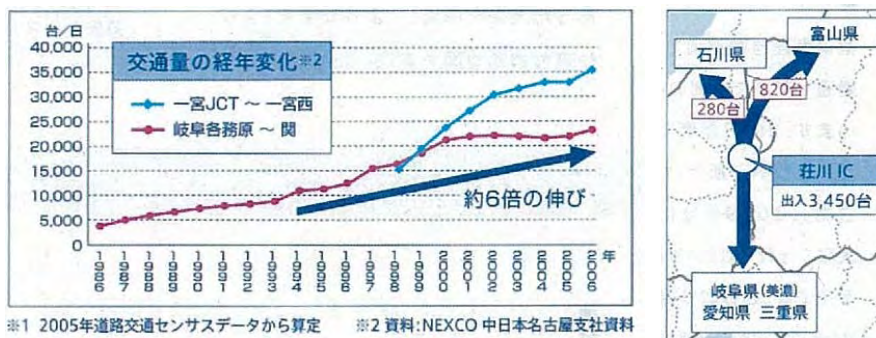


出典：東海北陸自動車道パンフレット(2007年9月：中日本高速道路株式会社)

図 4.4.2.1 所要時間の短縮効果

###### (2) 開通済区間の交通量の増加

- ・ 東海北陸自動車道で最初に開通した岐阜県各務原IC～美濃ICでは、開通時（1986年）と現在の交通量（2006年）を比較すると、6～7倍の伸びを示している。
- ・ また、荘川ICを利用する交通量のうち、3割余りが富山、石川県と東海地方を結ぶ交通であり、すでに東海北陸自動車道を利用した東海地方と北陸地方の交流は始まっている。飛騨清見～白川郷の開通により、さらなる利用の増加が見込まれる。



出典：東海北陸自動車道パンフレット(2007年9月：中日本高速道路株式会社)

図 4.4.2.2 交通量の増加

